

投資事業評価調書（新規）

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 北村 昭二 (交通施設係長 鎗水 正和)	内線	4389 (4399)
------	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約5.0 億円
		交通安全施設等整備事業 <small>いずみやがみしんせん</small> (一) 泉八上新線	<small>ささやましいずみ ひおき</small> 篠山市 泉 ~ 日置	内用地補償費	約1.4 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市 泉 ~ 日置 地内				平成23年度	平成27年度
事業目的			事業内容		
<p>当該事業区間は、小中学生の通学路となっているが、歩道が設置されておらず危険なため、小学生は送迎バスによる通学となっており、中学生は大型車等が通行する際に危険な状態となっている。</p> <p>そこで、歩道を整備することにより、小中学生の通学路の安全・安心を確保する。</p>			<p>歩道整備（片側） L = 760m W = 2.0m(2.5m)</p> <p>現況 歩道なし (負担割合 国5.5/10 県4.5/10)</p>		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 [周辺状況]		<ul style="list-style-type: none"> 当該事業区間は、篠山市東部に位置し、付近には篠山東中学校・城東小学校、篠山市の城東支所及び城東保育園が立地する。 当該区間は篠山東中学校の通学路となっているが、大型車等が通行する際に危険な状況となっている。 また、平成22年4月に3校合併により城東小学校が開校され、通学路となる予定であったが、当該区間を通学するのは危険との判断で現在は、送迎バスで通学している。 			
[交通状況]		<ul style="list-style-type: none"> 自動車・自転車交通量が比較的多い。大型車混入率(11.0%) (自動車2,744台/日、歩行者7人/12hr、自転車139台/12hr) 			
[交通事故]		<ul style="list-style-type: none"> 過去5年間の全事故件数は8件発生。 過去5年間に自転車、歩行者の事故が2件発生している。 			
(2)有効性・効率性 [効果]		<ul style="list-style-type: none"> 通学路として利用している小・中学生の安全を確保できる。 			
[事業執行環境]		<ul style="list-style-type: none"> 城東小学校開校に際し、地元PTAから早期整備の要望がある。 住民参加による交通安全総点検を実施し(H22.4.15実施、8人参加)、歩道の必要性を求められている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 歩道の透水性舗装により、雨水を地下に還元するとともに道路交通環境の改善が図れる。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 事業区間にある泉橋は平成22年度より、老朽対策として橋梁架替工事に着手しており、あわせて歩道整備を行う必要がある。 通学児童・生徒は危険な状況にあり、早期の対策が必要である。 地元からの要望が強い。 			

概要図

歩道整備

(一) 泉八上新線

篠山市泉～日置

(交通安全施設等整備事業)

雲部小学校
(H22.3廃校)



(一) 瀬利八上上線

(一) 篠山京丹波線

篠山東中学校

(一) 瀬利八上上線

起点

至 篠山

泉橋

(一) 泉八上新線 歩道整備
L=760m W=2.0(2.5)m 片側

(一) 泉八上新線

(一) 篠山川

(国) 372号

終点

城東保育園

篠山市城東支所

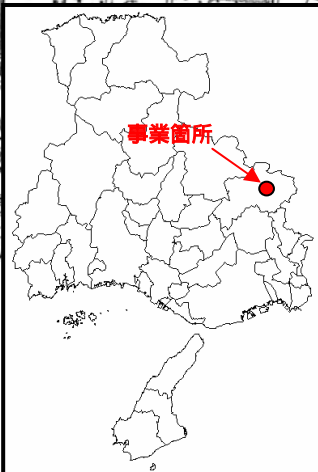
(主) 川西篠山線

至 川西

城東小学校

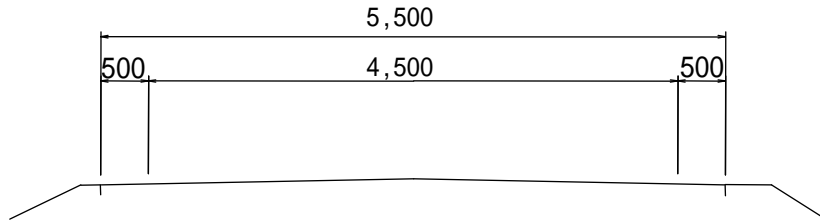
凡例

国 道	
県 道	
既設歩道	
事業区間	
小学生通学路	
中学生通学路	

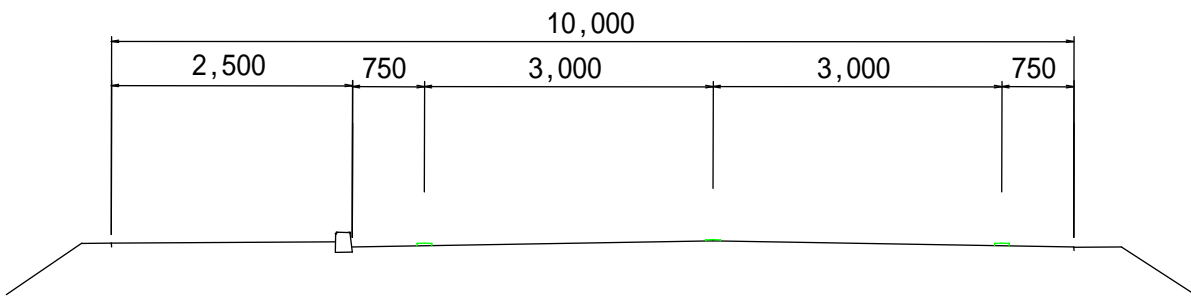


標準断面図

整備前



整備後



事業スケジュール

工種	H23	H24	H25	H26	H27
調査・設計					
用地補償					
工 事					

通学状況



通学路に歩道が整備されておらず、
ワゴン車による送迎が行われている